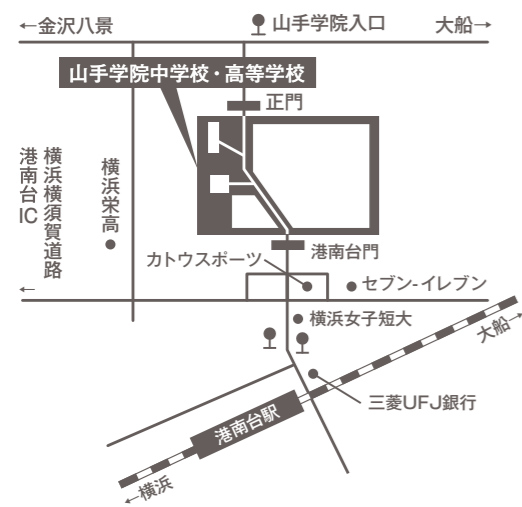


MAP



ACCESS

- JR 京浜東北・根岸線 港南台駅下車 徒歩 12分
横浜駅～港南台駅 24分 大船駅～港南台駅 7分
- 横浜市営バス45、111系統ほか 横浜女子短期大学前下車
- 神奈川中央交通バス大船～金沢八景線ほか 山手学院入口下車

ADDRESS

- 〒247-0013 神奈川県横浜市栄区上郷町460
- 045 (891) 2111
- www.yamate-gakuin.ac.jp



山手学院中学校・高等学校

YAMATE

山手学院中学校・高等学校 2027年度 学校案内

'27



山手学院は、「未来への夢をはぐくみ、

その夢の実現をたくましく になっていく人」

すなわち、「世界を舞台に活躍でき、世界に信頼される人間」を

育成することを、建学の精神としています。

「新たな時代への挑戦」

IoTで人とモノがつながり、AIにより必要な情報が必要なときに提供され、

ロボットや自動走行車で人の可能性が広がり、社会の変革によって

多様なニーズに対応するSociety5.0時代が到来しつつあります。

この新たな時代は、決してAIやロボットに支配され監視されるような未来ではなく、

一人ひとりの人間が中心となる社会であり、世界の多様な課題の解決にも通じる社会です。

加速度的に変化し、複雑で予測困難となってきた社会では、

答えのない問いに対して挑戦し、新たな価値を生み出していくことが求められます。

山手学院は、生徒一人ひとりに寄り添い、新たな時代への挑戦を全力でサポートします。

さらに自らに誇りを持つとともに、あらゆる他者の誇りと自由を尊重し、

多くの人と協働しながら社会的変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となることができるよう、

その資質と能力の育成を目指します。新時代に挑む結果として、成功と失敗が生まれます。

山手学院の創設者のお一人である江守節子先生が、ご自身のアメリカ留学時代を振り返ってこのように

語っていらっしゃいます。「……こうして、すべてアメリカ流に勉強して行って、ひとつ悟りました。

ハナからんでだめだということは、この世にはない。努力すればなんとかなる。要は努力しなければだめだ

ということですね。あとは、その努力をどこまで続けるか、という持続力の問題なんです。」

そして、江守節子先生の口癖は「Never Never Never Give up!」でした。

たとえ失敗しても、新たな一歩と考える挑戦し続けてください。

よりよい未来を創造するために世界の舞台で活躍し、世界で信頼される人間になり、

最終的には、個人と社会の多様な幸せ (well-being) を実現してほしいと思っています。

校長 簀田 大

教育方針

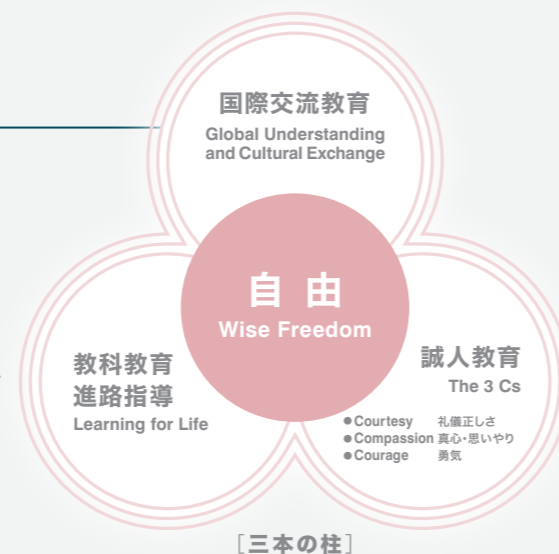
建学の精神を実現するために、

本校では「三本の柱」を教育方針に定めています。

三つの柱の中心にある自由とは、自らに誇りを持つとともに、

他者の誇りと他者の自由を尊重する姿勢の上に成り立つ自由、

すなわち「Wise Freedom」です。



国際交流教育

独自の国際交流プログラムとGLP (Global Leader Program)のもと、
中学から世界を体験します。異文化にふれ、新しい自分の発見につなげています。



「世界を舞台に活躍でき、世界に信頼される人間」を育成するという目標を実現するためには、
単に教室の中で世界について学ぶだけではなく、中学・高校という多感で柔軟な吸収力のある時期に、
直接「世界」の中に飛び込み、体験することが必要だと考えています。

山手学院で学ぶすべての生徒にその機会を与えるのが、本校の国際交流プログラムです。

中学3年でのオーストラリアホームステイ、高校2年での北米研修プログラムを柱として、

ニュージーランド中期留学、国連世界高校生会議 (UNIS-UN) への生徒派遣などを行っています。

GLP (Global Leader Program) では、身のまわりから世界の課題にまで目を向けて解決策を見いだしていく

SDGsやアントレプレナーシップ、プログラミングについて学ぶ講座、

シンガポールや韓国での研修など多種・多様なプログラムを実施しています。



国際社会で活躍する人間に
育つために、
何を心がけるべきなのでしょう？



国際交流部長 佐藤 友則

グローバル化が進む世界。現代は、「世界で活躍する人材＝握りのエリート」という時代ではありません。いろいろな立場の人が国境を越え、従来以上にさまざまな分野で活動することが当たり前になっています。ではその国際社会において、日本で学ぶ子どもたちが活躍する人間に育つためには、何を心がけるべきなのでしょう？

山手学院の建学の精神である、「世界を舞台に活躍でき、世界に信頼される人間」の育成を実現するためには、教室の中で世界について学ぶだけでなく、多感で柔軟な吸収力のある時期に、直接「世界」に飛び込み、自ら経験することが必要です。

本校の国際交流プログラムは、すべての生徒が参加する中学3年でのオーストラリアホームステイ、高校2年での北米研修プログラムを柱として、世界各国への1年間の留学制度、ニュージーランドへの3カ月の留学制度、世界各国の代表と議論する国連世界高校生会議 (UNIS-UN) への生徒派遣などを行います。

単に英語を話せるようになることを目標とせず、お互いの文化の違いを知り、それぞれの文化のよさを見いだすことを通して、文化の差に阻まれないコミュニケーション能力が身につけていきます。多様な仲間とふれあうことで、ものごとに対する考え方が豊かになり、新しい環境に飛び込むことで、今まで気づかなかった自分を発見することにもつながっていきます。

自らの意思で学び、自らの力で行動する。そのためのツールとして語学力を高めながら、知らない土地への好奇心や異文化への理解を深めていく。これがグローバル化した「世界」におけるスタンダードであり、世界で個々がパーソナリティーを発揮し、人々の信頼を得て活躍していく原点だと思います。そして、それが自然に身についた大人に育っていく環境が、山手学院にはあります。

国際交流プログラム

中高一貫の山手学院ならではの多彩な「国際交流プログラム」を通じて、広くて多様な世界を実感し、世界基準の視野を育てます。

3年(中3)

4年(高1)

5年(高2)

6年(高3)

オーストラリア
ホームステイ



ニュージーランド
中期留学
(中3希望者)



- 夏の講習
- 冬の講習
- 説明会
- 春の講習
- 直前講習

北米研修プログラム

北米ホームステイ



リターンビジット



国連世界高校生会議
(UNIS-UN)
(高1~高3希望者より選抜)



世界基準の
視野を持つ

オーストラリアホームステイ

ニュージーランド中期留学

北米ホームステイ

国連世界高校生会議(UNIS-UN)



高校2年生全員参加で1969年度から行っています。4月中旬、15泊16日の日程で、カナダ、アメリカの都市へ行き、原則2人1組でホームステイをします。日本の文化紹介やパフォーマンスを行うほか、現地の学校の行事に参加。世界を肌で感じる2週間です。



ニューヨークにある国連国際高校の生徒たちが中心となり企画して行われるこの会議は、毎年3月上旬、国連本会議場を舞台に開催されます。世界を取り巻く問題をテーマに、関連分野の第一線で活躍する方々をゲストスピーカーとして招き、世界数十カ国の高校生と意見交換・交流を行います。本校は1993年から参加しています。

山手学院での国際交流の第一歩となるのが、中学3年生が全員参加で11月初旬に6泊7日の日程で行うオーストラリアホームステイです。中学1年から築き上げた英語力を試すよい機会として、また総合的な学習の一環として実施し、今年度で24年目を迎えます。金曜夜に日本を出発、土曜朝にオーストラリアに到着後、夕方にホストファミリーと対面。2人1組でお世話

になります。翌週月曜からは、現地の学校を訪問。オーストラリアの子どもたちと打ち解けて、楽しい時間を過ごします。この5日間のホームステイプログラムは、海外への興味・関心を深めたり、より高い目的意識を持って学習に取り組んだり、向上心を育むきっかけになり、高校2年次で行う北米研修プログラムへとつながっていきます。

この留学プログラムは、中学3年の3学期に実施されます。到着後、現地の文化や習慣、生活方法について研修を受けてから、現地の学校に編入します。2カ月半を過ごした後に帰国し、高校の入学式を迎えます。15歳という柔軟な時期に、保護者のもとを離れて、自らの力でホストファミリーやクラスメイトと英語でコミュニケーションをはかる留学プログラムは、6年一貫だからこそ選べるプログラムのひとつです。

リターンビジット



山手学院の生徒が訪問したアメリカやカナダの生徒を7月下旬に日本に迎え、山手生の家庭にホームステイしてもらいます。山手生と一緒にクラブ活動を行ったり、地域での活動に参加したり、横浜・鎌倉・浅草などを散策したりします。



20年後の世界で活躍する人材、「Change Maker」の育成に向けて。

グローバルリーダープログラム (GLP) は、これからの社会で求められる力を育むことを目的としたプログラムです。本プログラムでは、「課題発見・解決力」、「論理的思考力」、「社会課題への意識」という3つの力を柱とし、多様な視点から物事を考え、自ら課題を見だし、主体的に行動する姿勢を育てます。これらの力を育むために、「SDGs」、「多言語コミュニケーション」、「アントレプレナーシップ」、「プログラミング的思考」、「哲学的思考」の5つのテーマに沿った多種多様な講座を展開しています。さまざまな学びの経験を通して思考を深め、社会と関わりながら行動できるグローバルリーダーの育成を目指します。

国内GLPツアー

海外GLPツアー

大分県 立命館アジア太平洋大学 (APU) 次代を拓く人材育成キャンプ

地域と世界の視点から社会課題に向き合い、起業家精神と新たな価値創出を学ぶプログラムです。



シンガポール イマージョンプログラム

シンガポールとマレーシアで学び、教育・SDGsを通して国際的視野とリーダーシップを育てるプログラムです。



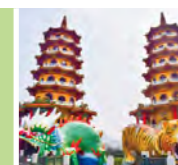
福岡県 日本とアジアの歴史を探究する九博ツアー

九州の史跡と九博を巡り、日本とアジアの歴史を立体的に学ぶプログラムです。



台湾 文化と歴史の交差点で未来を創る

台湾各地でのフィールドワークと現地学生との交流を通じて、異文化理解と発信力を高めるプログラムです。



広島県 同世代と共に考える平和学習

広島の若者との交流や体験を通じて、平和と向き合う新たな視点を育むプログラムです。

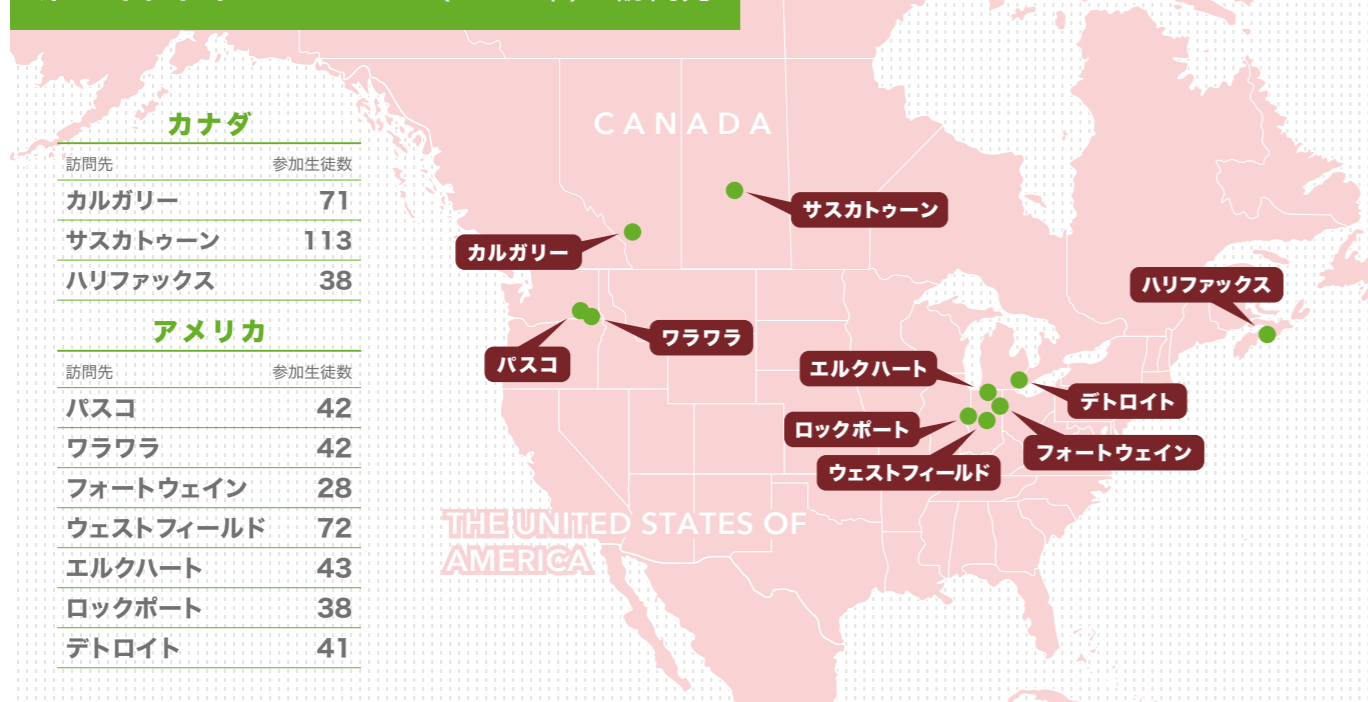


韓国 ソウルでつながる同世代との学びと交流

韓国での学校訪問や交流を通じて、歴史と文化を学び国際的視野を広げるプログラムです。



第58回 北米ホームステイ (2026年)の訪問先



Unityでゲームを開発しよう! 本格ゲームプログラミング講座

UnityとC#で実際にゲームを制作し、動かしながらプログラミングを学びます。

企業課題に挑戦! 探究ラボ・プロジェクト講座

企業課題をテーマに、チームで試行錯誤する探究型プロジェクト講座です。

AIと共に挑む! クラウドファンディング体験講座

AIを活用し、共感を集める模擬クラウドファンディングに挑戦します。

教科書の外へ! 「探究型スタディツアー」企画講座

社会課題をテーマに、学びのあるスタディツアーを企画・発信する講座です。

リターンビジット学生会議

北米の生徒と英語で話し合い、教育について考えを深める国際交流講座です。

問いを深める! 個人探究ラボ講座

個人探究を通して、考える力と総合型選抜につながる経験を積みます。

レゴ® ブロックで創る 「最強の未来の自分」デザイン講座

レゴ® ブロックで未来の自分を可視化し、ありたい姿から行動を考える講座です。

じっくり考える会

正解のない問いを味わい、対話を通して考えを深める哲学対話の講座です。

ひらめきをカタチに! ロボット×工作でアナログゲーム開発

工作とプログラミングで、実際に動くゲーム制作に挑戦します。

AIを活用して WEBアプリを開発しよう!

AIを活用して設計から公開までを行い、WEBアプリ開発を実践的に学びます。

Innovative Minds Program

身近な困りごとを解決するために、仲間とプロジェクトを立ち上げ、挑戦する講座です。

アートで語ろう! 対話型鑑賞講座

対話を通して作品を味わい、多様な見方や考え方に会える鑑賞講座です。

「アイデアは、書くところから始まる」 コクヨ×商品企画チャレンジ!

書くことから発想を広げ、企業課題に向き合う商品企画に挑戦します。

アイデアを商品化! 3Dモデリング&プリンター講座

3Dプリンターを使い、試作と改良を重ねてオリジナル商品を作ります。

Season Tech 自動運転開発コース

ラジコンカーを制御し、自動運転の仕組みを体験的に学ぶ講座です。

教科教育 進路指導

中高6年間を通じた教科指導は、手厚くきめ細やかです。確かな学力を育て、未来の可能性を広げていきます。



中高6年間で3期に分け、基礎学力の要となる科目に十分な時間をかけていきます。



教務部長 島田 和彌

教科指導は手厚く、きめ細かく行っています。6年間の山手学院での学びを修了したとき、その先の世界で通用するために必要な総合力と個性を養い、未来に羽ばたけるように準備をします。

中学校の6年間で3期(前期:中1中2、中期:中3高1、後期:高2高3)に分け、週34時間に縛られず、基礎学力の要となる科目に十分な時間をかけ、確かな学力を育てます。

前期:漢字コンテストなどを通して基礎学力を、授業を通して考える習慣を育成します。英語に関しては英語・Englishの授業を週7時間と手厚く配当し、多方面からより豊かな能力を育てる教育を実践しています。

中期:中3では選抜クラス(2クラス)を設置し、ある程度発展的な学習にまで取り組みます。またクラスの人数を少なくすることで、すべての生徒の学力向上を目指します。

後期:選抜クラスは難関国公立大を目指し、一般クラスは文系・理系の2コースに分け、効率よく指導します。選択授業も充実しています。

6年間の学び

1年(中1)	2年(中2)	3年(中3)	4年(高1)	5年(高2)	6年(高3)
学びの特徴					
基本的な生活習慣・学習習慣の確立 漢字コンテストなどを通して基礎学力を、授業を通して考える習慣を、行事やクラブ活動を通して挑戦する姿勢を育成します。家庭学習との連携を重視していきます。		可能性に挑戦する姿勢の育成 3年(中3)から高校レベルの内容に取り組む教科もあります。少人数授業によって、中下位層に手厚く、上位層にはさらに刺激を与え、すべての生徒の学力向上を目指します。		自己の将来への取り組みと開拓 選抜2クラスと、文系・理系に分け効率よく指導。また土曜講座も使って、選択演習を充実させています。	
学びの具体的な取り組み					
★体系数学(数研出版) ●校外活動(中1) ●スケッチコンクール ●漢字コンテスト(漢検含む)	★体系数学(数研出版) ●校外活動(中2) ●スケッチコンクール ●漢字コンテスト(漢検含む)	★先行カリキュラム開始 ●オーストラリアホームステイ ●漢字コンテスト(漢検含む)	★進路選択説明会 ★模擬試験	★共通テスト報告会 ★模擬試験 ★大学模擬講義(早稲田・明治など) ●北米研修プログラム	★大学入試説明会 ★模擬試験
● 基本的な学習 ★ 進学のための学習					

6カ年一貫コース

1年(中1)	2年(中2)	3年(中3)	4年(高1)	5年(高2)	6年(高3)
一般クラス	一般クラス	選抜クラス(2クラス)		選抜クラス(2クラス)	
		一般クラス	一般クラス	文系クラス	
		●「選抜クラス」2クラスと「一般クラス」4クラスに分かれます。 ●「選抜クラス」では、ある程度発展的な学習にまで取り組みます。 ●「一般クラス」では、1年(中1)・2年(中2)よりもクラスの人数を少人数にして授業が行われます。3年(中3)から4年(高1)、4年(高1)から5年(高2)に進級するとき「一般クラス」から「選抜クラス」に入ることができます。		数学・理科は選択が可能ですので、国公立志望者にも対応しています。芸術系の進路を志望する場合は、このクラスで選択することができます。	
		中学校での英語教育 Englishの授業は、各クラスを2つの少人数グループに分け、それぞれのグループをネイティブスピーカーの教員が担当します。3年間を通して、生徒たちは実生活で役立つ表現を使った会話練習や、さまざまなテーマについてのディスカッションなど、積極的に英語でのコミュニケーション活動に取り組みます。3年生で全員が参加するオーストラリアでのホームステイに向けて、自信を持って英語を使える力を育てるとともに、生徒の実用的な英語力と国際的な視野の育成に力を入れています。		理系クラス 国公立志望者にも対応しています。	

教科の特色

6年間を通じた段階的な指導、教科ごとに工夫を凝らした授業で、真の学力を培います。



国語

国際社会で活躍する人間にふさわしい高い言語能力と、それを支える教養ある人格の育成を目指し、国語科ではその基盤になる日本語の歴史・文化・意識をよく「学び」、深く「理解し」、現代に生きるものとして「考え」、他者に対して「表現する」力を育てます。中学では、まず自主的に学習に取り組む姿勢を確立します。ノートの取り方や辞書の扱い方、試験勉強の仕方などを身につけていきます。高校では、進路に応じた取り組みを進めていきます。全学問の基盤となる言語能力を高め、多様化する受験制度に対応できる学力をつけます。



理科

科学的な思考力と考察力を育成することをテーマにしています。実験観察を多く行い、生徒が自ら学び探究する機会を増やしています。多くの生徒が実験に参加できるよう、実験器具や薬品は数多く揃えています。実験を通して得た自然現象に対する驚きや感動は、本当の学力として高校での学習や大学受験に役立つだけでなく、卒業後も世の中のさまざまな現象に興味を持つ原動力になります。また、タブレットを用いたICT教育にも力を入れています。高校2年以降の理系クラスでは、入学試験に合わせた指導を実施し、真の理科的思考を育めるように指導しています。



数学

次の5つの数学的な見方や考え方を身につけることを目標としています。①帰納的な考え方(具体的な例から推測し、共通に成り立つ一般的なルールをつくる)②類推的な考え方(類似する既知の事項の性質やルールが同様に成り立つとする)③演繹的な考え方(論理的規則を用いて必然的な結論を導き出す)④一般化の考え方(ひとつの対象、または集合全体で成り立つ一般性を見つける)⑤単純化の考え方(複雑なものを、簡単になる場合に置き換えをする)。数学の学習を通して、一人ひとりがこれらの能力を身につけ、伸ばせるように指導しています。



社会

世界の枠組みが大きく変わり、異文化との交流が増え、新たな選択を迫られている現代にあって、日本と世界の過去と現在を知ることは、かつてなく重みを増しています。社会科では、知的探究心や多角的視点を養い、世界市民としての公正な判断力と、その根拠となる教養を身につけることを目標に、問題解決型のグループ学習などを通して、高度な理解を目指します。中学1年で「世界」、中学2年で「日本」をテーマに、地理・歴史を相互に関連づけながら学習。中学3年では近現代の日本の歩みを学び、現在の政治や経済への理解を深めていきます。



英語

英語を「読み・書き・話し・聞く」だけでなく、相手を知り自分を理解してもらうことを自由にできるレベルを目指します。中学1年から中学2年では英語でのコミュニケーションに必要な基礎的な知識を身につけます。ネイティブスピーカー教員によるEnglishの授業が週2時間あります。中学3年から高校1年では英語を運用する力を伸ばします。速読を意識したトレーニング、リスニングやスピーキングの技能を伸ばすための音声活動も行います。高校2年から高校3年では大学入試問題演習を中心に、国公立・難関私立大の入試に対応できる実力を養成します。



技術・家庭

技術科の木工ではできるだけ機械に頼らず、手工具を使ったモノづくりを目指しています。さまざまな加工法を学びながらラックや電気スタンド、ラジオの製作などを通してモノづくりの楽しさや難しさを学習します。中学の家庭科では、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識や技術の習得を目指し、高校では、「衣生活」「消費生活・家庭経済」「食生活」「住生活」を実習・実験などを行いながら学びます。

保健体育

「走ること・跳ぶこと・投げること・泳ぐこと」を軸に体力の向上をはかり、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力、健康の保持や増進のための実践力を育成することを目標にしています。体育の内容は、陸上競技、器械体操、ダンス、球技、武道などをクラスごとに男女共習で行います。中学1年では保健体育講座として、外部講師を招き「思春期の心と体」について学ぶ機会を設けています。

美術

美術は「描くこと、見ること、感じること」をテーマに、中学3年間を通じて、豊かな感性を育む授業を行っています。豊富な画材に触れ、多様な表現方法を経験することで創造活動の喜びを味わいます。また作品を鑑賞することによって浮かんでくる「何を表現しているの?」「どうやって描いたの?」という疑問をきっかけに、さまざまな表現活動に挑戦していきます。

音楽

音楽とは文化です。音楽を学習することで、日本と世界の文化を情報として知るだけでなく、じかに体感することができます。中学では篠笛から始め、箏との合奏を目指します。音楽を通して文化の多様性を享受し、他社との相互協力を学びながら、自己の想像力・人間力を磨いていきます。またグループ演奏や合唱コンクールを通して、協力しながら音楽をつくり上げる喜びを学びます。



進路指導

一人ひとりの希望や個性に合わせた的確な進路指導のもと、確かな実績を上げています。

主体的に勉強する環境をつくり、
大学の先を見据えた
進路指導を行っています。



進路指導部長 大竹 直

山手生は授業やクラブ活動、北米研修プログラム、そして山手祭と充実した日々を過ごしています。その山手生が、学校にいながら大学を身近に感じられる取り組みとして、模擬講義、大学の入試課の方による説明会などを実施しています。

また、高校2年の後半になるとお互いに感化し合い、早朝や放課後の教室で勉強する生徒が現れます。校長は「『正解』のない世界を、自ら切りひらこう」とよく生徒たちに話しています。まさに、山手学院では生徒が主体的に勉強する姿勢・環境が受け継がれています。

それに加え、進路情報に精通した教員が一人ひとりにきめ細かな指導をし、生徒の学力向上ならびに希望する進路の実現をサポートしています。

また、受験には生徒本人だけでなく、保護者、教職員が一体となって向き合います。昨今の入試の変化にいち早く対応すべく「保護者のための大学入試研究会」を実施し、多くの受験情報を提供しています。

本校の進路指導は、大学に入学することを一番の目標にするのではなく、その先の未来をも見据えて行っています。受験当日に本来の力を出し切ることは難しいものですが、山手生はこれまで仲間とともに最大限の努力をしてきたという自信があるからこそ、本来の力を発揮でき、結果につなげられていると思います。



進学実績

2026年合格実績

抜粋・（ ）内は現役生

国公立大学				私立大学					
小樽商科	1(1)	東京都立	7(7)	神戸	1(1)	早稲田	86(84)	専修	35(34)
はこだて未来	1(1)	横浜国立	20(19)	山口	1(1)	慶應義塾	50(45)	芝浦工業	46(45)
北海道	2(2)	横浜国立	15(14)	徳島	1(1)	上智	53(51)	東京都市	36(26)
弘前	1(0)	神奈川県立保健福祉	1(1)	九州	1(0)	東京理科	76(60)	東京農業	25(24)
東北	7(7)	新潟	1(0)	大分	1(1)	明治	193(178)	北里	16(15)
筑波	2(1)	富山	1(0)	鹿児島	2(2)	青山学院	103(96)	津田塾	3(3)
宇都宮	1(1)	富山県立	1(1)	防衛大学校	2(2)	立教	85(79)	東京女子	6(5)
群馬	1(1)	金沢	1(1)	海上保安大学校	1(1)	中央	71(65)	日本女子	18(16)
埼玉	1(1)	福井	1(0)			法政	101(93)	昭和女子	16(16)
千葉	9(6)	福井県立	1(1)			学習院	29(24)	フェリス女学院	1(1)
電気通信	4(3)	山梨	1(1)			成城	26(26)	東洋英和女学院	1(1)
東京	1(1)	山梨県立	1(1)			成蹊	14(14)	関西	2(1)
東京外国語	4(4)	信州	2(1)			明治学院	94(89)	関西学院	6(6)
東京科学	2(2)	名古屋	1(1)			國學院	15(15)	同志社	7(4)
東京藝術	2(1)	京都工芸繊維	1(1)			日本	53(46)	立命館	7(6)
東京農工	3(2)	大阪	2(1)			東洋	77(75)	神奈川	91(88)
一橋	7(6)	大阪公立	1(1)			駒澤	29(27)		

2026年
国公立大学
現役進学者数上位校

1. 横浜国立大学
2. 横浜国立大学
3. 千葉大学
3. 一橋大学
5. 東北大学
6. 電気通信大学
6. 東京都立大学

2026年
私立大学
現役進学者数上位校

1. 早稲田大学
2. 明治大学
3. 慶應義塾大学
4. 青山学院大学
5. 明治学院大学
6. 立教大学
7. 東京理科大学
7. 中央大学

グループ別大学合格者数推移

	2021	2022	2023	2024	2025	2026
国公立	95	138	120	123	113	117
早慶上理	216	247	273	262	217	265
MARCH	555	682	634	604	538	553
卒業生数	485	591	496	478	494	443

※現浪合計



学校生活

豊かな心を育む多彩な行事と、自信と誇りを培うクラブ活動と。
山手学院では伸び伸びと充実した6年間を過ごせます。



クラブ活動は、何ごとも
最後までやり抜く原動力となります。



生徒会指導部長 村上 卓

山手学院の生徒は勉強だけでなく、多様な行事やクラブ活動を通して、自己表現力や社会性を育てています。例年10000人を超える方々にご来場いただく山手祭(文化祭)は学内最大の行事であり、各クラスの個性があふれる工夫を凝らした展示が見ものです。山手祭だけでなく新入生歓迎スポーツ大会でも、生徒たちが主体となって企画や運営に携わり、自分たちのアイデアを実現することができます。

クラブ活動の種類は多く、15の運動部と16の文化部から自分に合ったものを選ぶことができます。クラブ活動に積極的に参加することで、自己表現力やリーダーシップを身につけ、人間性の成長にもつながります。また、仲間とともに苦勞を乗り越えてきた自信と誇りが、その後の受験期でも最後までやり抜く原動力となっています。全員が強制的に加入する必要がないながら加入率は大変高く、中学生全体では約9割となっています。

生徒会活動も盛んで、毎年2月に行われる選挙により選ばれた役員が生徒の代表として活躍しています。活動の範囲は幅広く、「山手祭」「新入生歓迎スポーツ大会」「卒業生を送る会」などの行事の運営だけでなく、生徒からのつぶやきを回収する目安箱を設置し、改善策を検討するなど多岐にわたります。最近では、「かさ袋削減プロジェクト」や自動販売機のラインナップを変える取り組みも行いました。また学校説明会では、山手の魅力を伝える生徒代表としてスピーチをしてもらうこともあります。生徒会の役員の中にはクラブ活動でも活躍する生徒も多く、勉強以外でも何かを成し得たいという意識の高い、活気にあふれた集団となっています。

学校行事

<p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 入学式/1学期 始業式 ■ 遠足(2・3・4・6年) ■ 北米ホームステイ(5年) ■ 模擬試験(2・3年) ■ 大学入試報告会(6年) ■ 新入生歓迎スポーツ大会 	<p>8</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 夏期講習 ■ 2学期 始業式 ■ 第1回実力テスト ■ GLPツアー 大分(3・4年) ■ GLPツアー シンガポール(3・4年) 	<p>1</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 3学期 始業式 ■ 第2回実力テスト ■ 中学合唱コンクール ■ 模擬試験(1・2・3・4・5年) ■ ニュージーランド留学(3年) ■ 中学生徒総会 ■ 漢字検定
<p>5</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 校外活動(1年) ■ 模擬試験(5・6年) ■ 大学入試報告会(5年) ■ スケッチコンクール(1・2年) ■ 1学期 中間テスト 	<p>9</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 共通テスト説明会(6年) ■ 第2回中学漢字コンテスト ■ 模擬試験(6年) 	<p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 高校進学説明会(3年) ■ 共通テスト報告会(5年) ■ 全校ロードレース大会
<p>6</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 高校生徒総会 ■ オープンキャンパス ■ 第1回中学漢字コンテスト ■ 大学模擬講義(5年) ■ 大学説明会(6年) 	<p>10</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 山手祭(文化祭) ■ 英語検定(2・3年) ■ 模擬試験(6年) ■ 2学期 中間テスト ■ 校外活動(2年) ■ オーストラリアホームステイ(3年) 	<p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 学年末テスト ■ 卒業式 ■ 芸術鑑賞会 ■ 北米研修講習(4年) ■ 命を考える講演会(1・2年) ■ 春期講習 ■ GLPツアー 広島(3・4年) ■ GLPツアー 韓国(3・4年)
<p>7</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 1学期 期末テスト ■ 中学水泳大会 ■ リターンビジット(5年) ■ 夏期講習 ■ 北米研修講習(4年) 	<p>11</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 模擬試験(4・5年) ■ 第3回中学漢字コンテスト ■ 大学模擬講義(5年) ■ 進路希望調査(4・5年) 	
	<p>12</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 2学期 期末テスト ■ 理科校外学習(1年) ■ 北米研修講習(4年) ■ 冬期講習 ■ GLPツアー 台湾(3・4年) ■ GLPツアー 秋田(3・4年) 	

クラブ活動

クラスや学年を超えた仲間との絆を育み、学校生活を豊かにするクラブ活動も盛んです。



運動部

中学生の活動日の目安

■ 空手道部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ 剣道部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ サッカー部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ 柔道部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ 水泳部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ 卓球部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ ダンス部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ チアリーダー部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ テニス部	※1日おき							他
■ 軟式野球部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ バスケットボール部(男)	月	火	水	木	金	土	日	他
■ バスケットボール部(女)	月	火	水	木	金	土	日	他
■ バドミントン部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ マウンテンバイク部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ ラグビー部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ 陸上競技部	月	火	水	木	金	土	日	他

※●必要に応じて

文化部

中学生の活動日の目安

■ アニメーション部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ 囲碁・将棋部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ 演劇部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ 合唱部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ 華道部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ 茶道部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ 写真部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ 書道部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ 吹奏楽部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ 生物部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ 箏曲部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ ねころ部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ 美術部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ 文藝創作部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ ボランティア部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ 理工学部	月	火	水	木	金	土	日	他

※●必要に応じて



制服

明るく伸びやかな校風を感じさせる制服です。

ネイビーブルーのブレザーに、グレンチェックのズボンにネクタイの組み合わせ、またはグレンチェックのスカートやスラックスにリボンの組み合わせを選択でき、活発なイメージです。胸のエンブレムと金ボタンがポイントです。



5月から10月の期間、制服以外に略装として学校指定のポロシャツを着用することができます(式典のほか、学校が指示をした場合はシャツ・ブラウスを着用)

沿革

1966年 4月	山手学院中学校開校(男子のみ144名) 2年間の義務入寮制度開始	1987年 4月	アメリカに加えカナダでも研修旅行を実施 北米研修旅行と改称
1969年 4月	山手学院高等学校開校(男女共学となる) アメリカ研修旅行開始(ワシントン州デイトン市)	1989年 3月	オークランドグラマー記念賞制定
1970年 7月	5期生より6年間全寮制度となる 交換留学生制度発足(アメリカ・カナダ・ ニュージーランド・オーストラリアより14名来日)	1991年 9月	松信賞、江守賞制定
8月	リターンビジット開始 (第1回デイトン市)	2000年 7月	セントラル・アルバート賞制定
10月	体育館完成	2002年 11月	オーストラリアホームステイ開始
1972年 3月	高等学校第1回卒業式	2005年 3月	特別教室棟完成 (5階建て:技術・音楽・ 被服・調理・書道・ 教室6教室)
1973年 5月	卒業生記念会館完成	2010年 4月	併設型中学校・高等学校認可
1980年 4月	高等学校通学制度導入	10月	新図書館・カフェテリア完成
1982年 4月	中学校通学制度導入	2016年 4月	創立50周年
1986年 4月	本校舎別館完成(4階建て:12教室・4部室) 理数コース設置(高等学校)	2017年 4月	新体育館完成

YAMAMATE Q&A

説明会などでよくある質問にお答えします。

学校生活について

Q1 夏休みなどの長期休暇の過ごし方を教えてください。

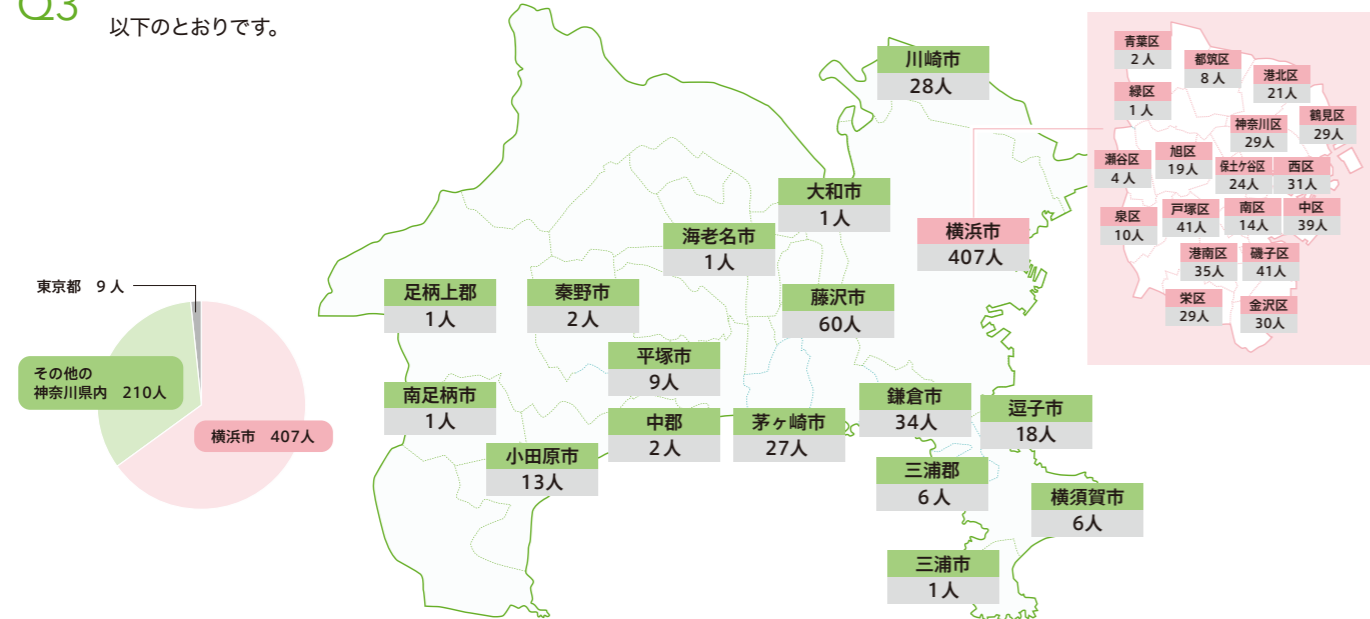
長期休暇中は5日間1タームの講習が多数開かれ、多くの生徒が参加します。また、勉強習慣を継続するため、多くの教科から課題が出ます。8月と1月の休み明けには実力テストがあります。生徒にとってはじっくり学習に取り組める期間ともいえます。

Q2 どのような生活指導をしていますか？

生徒一人ひとりが自分の力でものを見、判断し、実際の行動に移せるようにとの目標を設定し、教育環境づくりを行っています。全体的には穏やかな生活指導ですが、集団生活でのマナー遵守や個人の尊厳を守ることにおいては厳しい姿勢で臨み、停学・退学を含めた対応も行います。

Q3 通学地域について教えてください。

以下のとおりです。



Q4 登校指導を行っていますか？

多くの生徒はJR京浜東北・根岸線の港南台駅から歩いて登校してきます。乗降客が多い駅ですので、定期的に駅から学校の間での登校指導を行い、片側通行などの交通マナーを指導しています。

Q5 宗教教育を行っていますか？

特定の宗教教育は行っていません。

Q6 学生食堂はありますか？

ガラス張りで見学しやすい学生食堂(カフェテリア)があり、12時から15時までの営業時間中は、談話室や自習室としても使用できます。席数は300。事前に食券を購入して利用します。

Q7 生徒会はありますか？

充実した学校生活を送るため、選挙で選出された会長・副会長・執行委員を中心に、自主的な活動を行っています。活動は山手祭をメインに、新入生歓迎スポーツ大会や卒業生を送る会の運営・スポーツ応援などです。

Q8 自転車通学はできますか？

生徒の安全を考え、自転車通学は認めていません。

Q9 時間割について教えてください。

下記のとおりです。始業時刻は8:30、7校時終了時刻は15:35です。

● 中1 時間割表(例)

	月	火	水	木	金
8:30~	朝読書	朝読書	朝読書	朝読書	朝読書
1	国語	美術	数学	体育	英語
2	英語	美術	理科	English	理科
3	数学	数学	English	英語	社会
4	理科	社会	国語	国語	国語
5	技術・家庭	英語	音楽・書写	数学	数学
6	技術・家庭	音楽	英語	理科	体育
7	LHR		体育	社会	学年の時間

● 中2 時間割表(例)

	月	火	水	木	金
8:30~	朝読書	朝読書	朝読書	朝読書	朝読書
1	技術・家庭	数学	音楽	美術	数学
2	技術・家庭	社会	国語	理科	理科
3	理科	英語	英語	体育	国語
4	数学	国語	社会	数学	英語
5	英語	English	理科	社会	社会
6	体育	理科	数学	国語	English
7	LHR		学年の時間	英語	体育

● 中3 時間割表(例)

	月	火	水	木	金
8:30~	朝読書	朝読書	朝読書	朝読書	朝読書
1	国語	国語	英語	理科	English
2	数学	数学	数学	英語	数学
3	美術・情報	英語	理科	社会	体育
4	美術・情報	体育	English	国語	理科
5	理科	社会	国語	数学	国語
6	英語	音楽	技術・家庭	体育	社会
7	LHR		社会	学年の時間	英語

● 授業は1コマ45分です。 ● 英語は週7時間(English 2時間含む)、数学は週5時間を配当しています。

学習について

Q10 高校からの入学生もいるようですが、クラスは混在になりますか？

中学入学生は6年一貫カリキュラムになりますので、高校への進学後も高校入学生とクラスが同じになることはありません。国際交流プログラムや学校行事、一部の選択授業、クラブ活動においては、中学入学生も高校入学生と交流しながら、同じ山手生として学校生活を楽しんでいます。

Q11 土曜日には授業がありますか？

通常の授業は月～金曜日の5日間ですが、土曜日の午前中には土曜講座を開講しています。補習講座や資格試験対策講座、大学受験対策講座など多彩な講座が開講されていて、生徒たちはそれぞれのニーズに合った講座を受講することができます。勉強の講座以外に語学や教養のための文化講座も開講していて、生徒と保護者が一緒に受講できる講座もあります。

【開講例】「補習英語」「補習数学」「東大日本史から学ぶ歴史の教養」「TOEIC対策講座」「英会話」「韓国語講座」「氣とアロマ」「着つけ」など

Q12 補習はありますか？

土曜講座での補習以外にも、夏期・冬期・春期の長期休暇中には講習が実施されます。それぞれ一講習5日間程度で、基礎事項の復習から大学入試問題の演習まで、さまざまなレベルの講習が開講されます。学期中の通常授業とは違った角度から、弱点の補強や発展的な学力の強化に取り組むことができます。

Q13 指定校推薦枠について教えてください。

主な指定校推薦枠(2025年実績)	
横浜市立大学	国際教養学部・理学部・データサイエンス学部各1名、医学部(看護)2名
早稲田大学	法学部・商学部・文学部・文化構想学部・教育学部・基幹理工学部・先進理工学部・人間科学部各1名、創造理工学部4名
慶應義塾大学	法学部・薬学部各1名、商学部2名、理工学部3名
上智大学	法学部・理工学部各1名
明治大学	国際日本学部・総合数理学部各1名、理工学部2名
青山学院大学	教育人間科学部・総合文化政策学部・コミュニティ人間科学部各1名、理工学部5名
立教大学	文学部3名、法学部・コミュニティ福祉学部・観光学部各1名
中央大学	法学部3名、先進理工学部2名、総合政策学部・商学部・基幹理工学部各1名
法政大学	グローバル教養学部・社会学部・デザイン工学部・理工学部各1名
東京理科大学	理学部3名、工学部・先進工学部・経営学部・創域情報学部各2名、創域理工学部1名
学習院大学	経済学部・文学部・法学部・国際社会科学部各1名、理学部5名
関西大学	社会学部1名
関西学院大学	社会学部1名
同志社大学	商学部1名
立命館大学	理工学部2名
立命館アジア太平洋大学	アジア太平洋学部・サステイナビリティ観光学部各1名
成城大学	社会イノベーション学部・法学部各2名
明治学院大学	全学部 計10名
津田塾大学	学芸学部・総合政策学部各1名
東京女子大学	現代教養学部3名
日本女子大学	人間社会学部3名、理学部1名、家政学部2名
日本大学	経済学部・法学部・理工学部各1名、松戸歯学部
芝浦工業大学	建築学部・工学部・システム理工学部・デザイン工学部
北里大学	医療衛生学部4名、理学部3名、獣医学部・健康科学部各2名、海洋生命科学部・看護学部・薬学部・医学部医学科(神奈川地域枠)各1名
獨協医科大学	医学部医学科

入学試験について

Q14 2025年度の入試結果について教えてください。

以下のとおりです。

志願者／受験者／合格者／入学者

	試験日	募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	実質倍率
帰国生	12月7日	若干	71	69	36	7	1.9
A日程	2月1日	80	336	293	123	71	2.4
特待選抜Ⅰ	2月1日	40	575	512	278	26	1.8
特待選抜Ⅱ	2月2日	20	559	322	142	38	2.3
B日程	2月3日	60	502	286	112	74	2.6
合計		200	2043	1482	691	216	2.1

男女別結果

		志願者数	受験者数	合格者数
帰国生	男子	44	43	23
	女子	27	26	13
A日程	男子	181	152	66
	女子	155	141	57
特待選抜Ⅰ	男子	380	342	191
	女子	195	170	87
特待選抜Ⅱ	男子	347	188	83
	女子	212	134	59
B日程	男子	297	167	68
	女子	205	119	44
合計	男子	1249	892	431
	女子	794	590	260

2科4科別結果

		志願者数	受験者数	合格者数
A日程	2科	59	57	10
	4科	277	236	113
B日程	2科	87	64	19
	4科	415	222	93

※帰国生・特待選抜Ⅰ・特待選抜Ⅱは全員が2科受験

入試得点

	合格者						受験者平均点							
	最高得点				平均点		最低点							
	2科	4科	2科	4科	2科	4科	国語	算数	社会	理科	2科	4科		
帰国生	179	—	132.3	—	121	—	59.4	53.6	—	—	113.0	—		
A日程	172	297	147.8	260.8	135	240	60.7	60.8	53.3	48.7	121.5	226.8		
特待選抜Ⅰ	166	—	120.6	—	102	—	56.0	46.1	—	—	102.1	—		
特待選抜Ⅱ	172	—	119.7	—	96	—	64.2	31.4	—	—	95.6	—		
B日程	166	292	124.8	232.7	112	217	53.6	47.6	51.1	44.7	101.2	198.1		

Q15 帰国生入試について教えてください。

本校では、以下の条件に該当する方を対象に、帰国生入試を実施しています。
 通算1年以上の海外在留経験があり、2021年4月以降に帰国した方
 また、一般入試においても、以下の条件を満たす場合は優遇措置があります。
 通算1年以上の海外在留経験があり、2024年4月以降に帰国した方

Q16 宗教や国籍は問題になりますか？

宗教や国籍が問題になることはありません。本校の教育内容をよく理解した上で志願してください。

Q17 合格の決定では、男女どちらを優先しますか？

男女別に募集をしていませんので、男女の区別なく総合点で合格を決定します。

Q18 特定の教科が悪い場合には、不合格になりますか？

総合点で合否を決定します。不得意な教科の失敗を少なくすること、そして、得意な教科での頑張り合格への近道です。

Q19 山手学院が第一志望です。全日程を受験する予定です。合格の可能性はありますか？

試験の雰囲気やその年の問題傾向に慣れるためか、回数を重ねるほど得点が高くなるケースが多くみられます。また、繰り上げ合格を出すときでも、複数回受験者を優先しています。

Q20 2科・4科の選択制になっていますが、どのように合格者を決定しているのですか？

A日程・B日程は、「2科(国・算)合計点」と「4科(国・算・社・理)合計点」の2つの合格最低点を設定します。2科受験生は2科の合計点数のみでの合否判定になりますが、4科受験生は、2科合計・4科合計のうちどちらか一方で合格最低点をクリアしていれば合格になります。

Q21 試験当日に体調をくずして発熱してしまいました。どうしたらよいでしょうか？

体調不良の場合は事前にお電話などでご連絡いただくか、試験が始まるまでに本校職員まで申し出てください。保健室受験などの対応をいたします。

Q22 入試に関する問い合わせはどのようにしたらよいでしょうか？

入試対策部で質問を受け付けています。受け付け時間は、月～金(祝日を除く)午前9時～午後4時です。
 ☎ 045-891-2111

諸費用について

Q23 入学時に必要な費用はいくらですか？また学費、諸費用についても教えてください。

入学時に必要な費用

入学金260,000円のみです。施設設備費(240,000円)やそれ以外の校納金は入学後の5月に納めてください。ただし、入学金を期日までに納入しないときには、入学資格がなくなります。

学費について

学費は月額65,800円です。内訳は右記のとおりです。
 支払いは年6回、2カ月分ずつ銀行口座から引き落とします。

授業料	45,000円
維持費	13,500円
グローバル教育費	2,500円
タブレット費用	3,800円
父母の会費	1,000円
計	65,800円

諸費用について

〈制服など〉

男子：約96,000円 女子：約100,000円(税込)
 (夏服、冬服、シャツまたはブラウス 夏・冬各3枚、ネクタイまたはリボン)

〈オーストラリアホームステイ〉

(中3：6泊7日) 約560,000円(令和7年度実績) 中学3年時 旅行費用半額程度 2回分割納入
 航空運賃やその他の諸費用を含みます。

〈北米ホームステイ〉

(高2：2週間) 約540,000円(令和7年度実績) 高校1年時 旅行費用半額程度 2回分割納入
 航空運賃やその他の諸費用を含みます。

〈その他(年1回)〉5月引き落とし

図書館運営費6,800円、保健衛生費3,000円、生徒会費9,600円、教材費等預かり金として100,000円
 (遠足費用、有償学用品代、副教材代、模擬テスト代等を年度末に精算します)、および父母の会入会金2,000円

Q24 学費軽減の制度はありますか？

以下の制度があります。

- 1.特待生制度
 入学試験の成績優秀者には下記のような特待生制度が適用されます。
 施設設備費・授業料全額免除(原則3年間継続、但し1年ごとに継続審査があります)。
- 2.奨学金制度
 入学後、経済状況が逼迫し、学業継続が困難な状況が生じた場合、学費の一部を補助する制度です。
- 3.弟妹割引制度
 入学金・施設設備費半額免除。

Q25 保護者の海外転勤の際、在籍したままで生徒を海外に連れていくことができますか？

以下の条件で可能です。

- ①休学期間は最大31カ月(中学1年の2学期以降)とし、中学3年2月末日には復学すること。
- ②復学時に海外で在籍した学校の成績書類を提出すること。
- ③休学中は復学後に備えて、学力の維持に努めること。

